

授業科目名	観光キャリア英語	担当教員 直井 岳人			
必修の区分	選択				
単位数	2 単位				
授業の方法	講義				
開講年次	3年 第1クオーター				
講義内容	<p>「観光地としてのプロモーションのための英語による口頭プレゼンテーション」を行う上で必要なスキルと留意点について学ぶ。講義回1から5では、各講義の前半で英語による口頭ビジネスプレゼンテーションスキルを学び、後半で練習を行う。講義回6から10では、各講義回の前半で観光地としての地域のプロモーションを行う上で網羅すべき内容について学び、後半で最終プレゼンテーションに向けての情報収集と準備を行う。講義回6から10では、観光旅行者向けの情報に加え、観光産業向けの、観光の現状と市場性を網羅する。最終プレゼンテーションでは、大学が位置する但馬地域を対象にする。</p>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 英語による口頭ビジネスプレゼンテーションスキルを身につけることができる 英語による口頭ビジネスプレゼンテーションのための効果的なスライドを作成できる 観光地としてのプロモーションを行う上で必要な内容を理解し、英語による口頭プレゼンテーションの中で網羅することができる 				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション：良いプレゼンテーションとは 2. ビジネスプレゼンテーションスキル：挨拶と導入、繋ぎ 3. ビジネスプレゼンテーションスキル：データ・グラフの読み方 4. ビジネスプレゼンテーションスキル：まとめ・質疑応答 5. ビジネスプレゼンテーションスキル：スライドデザイン 6. 地域を観光地として紹介する：観光資源1 7. 地域を観光地として紹介する：観光資源2 8. 地域を観光地として紹介する：地域の基本情報（域内交通、宿泊、食事、買い物）1 9. 地域を観光地として紹介する：地域の基本情報（域内交通、宿泊、食事、買い物）2 10. 地域を観光地として紹介する：市場性（観光統計、観光客動向調査） 11. 最終プレゼンテーション準備：但馬地域の観光資源のプロモーション 12. 最終プレゼンテーション：但馬地域の観光資源のプロモーション 				
事前・事後学習	<p>予習：事前に配布する講義資料をもとに、次回の授業のキーワード、分からぬ単語の意味を理解しておくこと。</p> <p>復習：ミニ発表および最終発表の準備を行う。</p>				

テキスト	特に指定しない。
参考文献	<p>Grussendorf, M. (2008). English for Presentations (Oxford Business English). Oxford University Press.</p> <p>Powell, M. (2011). Presenting in English, Updated Student Book (128 pp) with Audio CDs (2). HEILN Cengage Learning.</p> <p>Milner, R., Bartlett, R., Bender, A., Forge, S., McLachlan, C. et. (2022). Lonely Planet Japan (Lonely Planet Travel Guide). Lonely Planet.</p> <p>Ochterbeck, C. C. (2018). Michelin Green Guide Japan. Michelin Travel Publications.</p>
成績評価の基準	<p>授業中のミニ発表 (30%)、最終プレゼンテーション (70%) を基に評価する。</p> <p>授業中のミニ発表では、各講義回で学んだ内容の習熟度を問う。最終プレゼンテーションでは、講義回 12 で受講者が行うプレゼンテーションの内容（時間、口頭プレゼンテーションスキル、ビジュアルスキル、内容）の質に関して評価する。</p>
履修上の注意 履修要件	講義は基本的に英語で行う。また、語学としての英語ではなく、あくまで英語によるプレゼンテーションスキルの教授を中心とする。従って、一定レベル以上の英語力を受講前に身につけていることが望ましい（目安としては TOEIC600 点以上）。またプレゼンテーション用のツール（Google スライド、または Microsoft の PowerPoint）の基本的な操作方法を、英語でも日本語でも構わないので受講前に身につけていることが望ましい。
実践的教育	該当しない。
備考欄	この科目では対面による講義を行う。